

伊賀市議会 だより

2011. 8. 1

No.26



輝く未来を子どもたちに（新居小学校運動会）

主な掲載内容

請願の審議内容 審議結果	2～3
委員会審査、本会議審議結果	4～5
18議員が一般質問	6～11
庁舎予算の凍結解除、議員表彰	12

庁舎移転・新築請願を採択!

2つの 請願を審査

現市庁舎の一部を保存、跡地は観光拠点にし、新庁舎は他場所で建設することについて

◎請願者

伊賀市ゆめが丘

竹之矢 虎雄

◎紹介議員

稲森稔尚、森 正敏、松村頼清、

渡久山力ナ工、中本徳子、

坂井 悟、桃井隆子

◎趣旨

現庁舎周辺は管内屈指の交通渋滞地区で、庁舎への車両出入りに支障をきたしている。

庁舎敷地は狭い上、三段差形状地であり、駐車場の確保・拡大が不可。また庁舎本体が狭く、450名余の職員しか執務できない。交通渋滞・敷地狭隘・職員のバラマキ体制が為に危機対応〇点の庁舎となる。

よって、伊賀市庁舎の建設は、「敷地1万坪」、「1千台駐車場の確保」、「危機対応可能な道路網完備」等が可能な場所に移転新築すること。

併せて、現庁舎を一部保存し、跡地を観光駐車場やこれら諸施設の整備に再生利用すること。

こうした施策により、合併後の伊賀市庁舎の機能が確立し、庁舎建設に係る経費の「大幅節減」になると確信する。



請願の審査と経過

Q 他の場所へととなると合併特例債の適用期間内にできるのか。

A 基本構想・基本計画の策定や検討委員会の設置、さらには用地交渉や測量、建設工程等考え、あと3年8ヶ月の適用期間では間に合わない。

Q 市民への説明責任は果たされているのか。

A 昨年の7月に現在の場所で新築という方針は決まっている。市民の皆さんにご理解いただいていると確信を持って、今後も方針に基づいて進めたい。

討論

賛成

歴史的な遺産をさらに活用し、観光都市として中心に栄えていくためにも財源確保が必要であり、請願の要旨はそれらを含んでいることから賛成。

市民合意が得られていない庁舎問題は、もう一度議論が必要であることから賛成。

反対

これまでの検討結果が現在の場所であることとである。市民の皆さんの意見を取り入れ設計に活かしていくワークショップや地区説明は一定期間必ずかかる。

あと3年8ヶ月で趣旨のような土地を求めることは難しい。

審査の結果、賛成多数で採択すべきものと決まりました。

本会議の審議

議論白熱!

7 議員が討論

賛成

● 市長は白紙委任を受けたかのように市民不在で市政を進めている。市民を議論の蚊帳の外に置き、説明会で出された疑問点や意見に誠実に対応してこなかった。
(稲森)

● 洪水ハザードマップから市庁舎の北部地域は、大雨時浸水想定区域であり平野職員駐車場や消防本部も含めて水没。災害対策本部が設置される新庁舎予定地の北側は、急傾斜地崩壊危険箇所であり、非常に危険。想定外の災害でも安全な場所に建設するべき。
(近森)

● 日本共産党議員団は現庁舎をこのまま使うという考え。「庁舎よりも医療問題が先」が市民の声。よって請願について問題は多いが市長の再考を求めて賛成する。
(森永)

討論

新庁舎の建設については、「伊賀市庁舎建設特別委員会」において審査され、「現在の位置で新築」という委員長報告があり、市民にも周知されている。

現在地案が市民合意を得られていないという理由ならば、「他の場所」で建設するという案は市民合意が得られているのか。

「他の場所」を見直すことの影響や内容すらも十分検討されたとは考えられない。

土地取得費を含め、大きな財源が必要になることは明らか。計画の見直しは、大幅な遅れにより「合併特例債」の適用が不可能になることが予想され、市民に大きな負担を背負わせることになる。

反対

(生中、上田、中井、田山)

教育民生常任委員会

不採択

「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対し、現行保育制度の拡充を求めることについて

◎請願者

伊賀市緑ヶ丘中町

新日本婦人の会伊賀支部

支部長 福井 都

◎紹介議員

百上真奈

◎趣旨

現在国で検討を進めている「子ども・子育て新システム」は、直接契約・直接補助方式、応益負担を導入し、保育サービスを産業化するものである。国の責任を市町村に委ねるだけでなく、市町村の保育責任を後退させ、保育の地域格差や家庭の保育レベルの差を生み出すことになりかねない。すべての子どもに質の高い保育を保障し、働く女性の権利を守るために、国へ意見書を提出していただきたい。



本会議 討論

賛成

子ども・子育て新システムになれば、保育について市町村の公的責任がなくなる。保育時間によって保育料が決まる応益負担になり、収入の少ない人が利用できなくなる。
(百上)

反対

子育て支援、相談事業、緊急一時保育も含めて、子どもたちを一体化の中で育てていく「認定こども園」の推進は大変重要である。
(渡久山)

委員会で賛成多数で採択すべきものと決まりましたが、本会議で賛成少数で不採択となりました。

常任委員会

各常任委員会では、第5回定例会で付託された議案6件（請願を除く）を審査しました。主なものは次のとおりです。

予算

議案 2件

一般会計補正予算
新たな雇用創出
補正額1332万円

緊急雇用創出事業として「伊賀市災害ボランティア支援センター運営事業」など5事業を行う経費として、事務補助員の賃金や委託料1152万円の増額補正を行ったほか、島ヶ原財産区特別会計においても緊急雇用創出事業を実施するため、特別会計へ180万円を計上します。この補正の財源は県からの緊急雇用創出事業等補助金です。

Q事業の対象者と期間は。

A対象者は仕事のない方。期間は半年間で、1回更新分をあわせると1年間になる。

全員賛成で可決すべきものと決まりました。

総務

議案 1件

上野ふれあいプラザの設置及び管理条例の一部改正
上野ふれあいプラザ
駐車場利用しやすく

上野ふれあいプラザビルの駐車場を、周辺の商業施設を利用して利用いただけるようにします。内容は、一般利用者の駐車料を30分単位とし、前売駐車券を廃止し、7月1日から実施します。

Q新しく来たスーパーに配慮した改正か。

Aその件も含めて、駐車場を利用しやすくするため。

Q駐車場の利用状況、金額はどれくらい減るのか。

A駐車場の利用率は年々減ってきているが、これまでの1時間200円を30分100円とし、スーパーの買物客が利用しやすいようにすればそれほど下がらないと思われる。

全員賛成で可決すべきものと決まりました。

教育民生

議案 1件

伊賀市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
救急外来看護師の
交代制勤務導入へ

上野総合市民病院の救急外来に勤務する看護師の負担軽減と離職を防止するため、7月1日から日勤と夜勤の2交代制にし、夜勤の看護師に夜間看護手当を支給します。

Q1人の看護師の当直勤務は月に何回か。

A救急当番日、非当番日とも、月1回の勤務である。

Q交代制勤務の導入は看護師不足が原因と思われるが、何人増やす必要があるか。

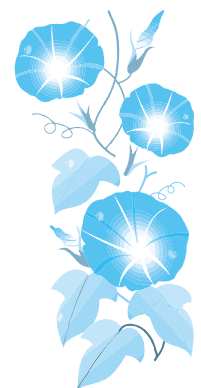
A20名の看護師が最低限必要であり、今回の交代制勤務の導入は健康上の不安を払拭するためのもの。

討論において、看護師確保に引き続き努力していただきたいとの意見がありました。

全員賛成で可決すべきものと決まりました。

中井 洸一	中谷 一彦	中盛 汀	西澤 民郎	百上 真奈	田山 宏弥	本城 善昭	森 正敏	北出 忠良	空森 栄幸	渡辺山子エ	前田 孝也	松村 頼清	今井 由輝	奥 邦雄	中本 徳子	岩田 佐俊	坂井 悟	桃井 隆子	中岡 久徳	馬場登代光	森岡 昭二	森永 勝二	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	
○	×	×	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×	○	
×	○	○	×	○	×	○	○	×	×	○	○	○	×	○	○	×	○	○	退	×	×	○	

○	×	○	○	×	○	×	○	○	○	欠	○	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	×
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



産業建設

議案 2件

工事請負契約の変更

**駅前再開発ビル建設
地の産業廃棄物処理
費用1億円**

この工事請負契約は昨年9月に「フジタ・中里特定建設工事共同企業体」と契約を締結し、今年1月に1回目の変更契約を締結しています。今回ビル建築工事中に地中から産業廃棄物が見つかり、処理する必要が生じたため、契約の増額変更をするものです。

Q 処理が適切であったとする根拠は。

A 県から示された見解であり、廃棄物の取り扱いは適切に行われたと判断された。

Q 見積りはとったのか。

A 県の基準単価がなく、市内、県内、県外あわせて3者から土砂混じりの混合廃棄物として、単価見積りをとり、安価なものを採用した。

Q 市の不燃物処理場で処理できなかつたのか。

A 不燃物処理場は家庭から出た一般廃棄物を受け入れる処分場であり、今回は産業廃棄物として処理した。

Q 事前に議会に対して説明がされるべきではないか。

A まだ掘削中であつたため、数量の把握ができず、報告は確定した時点とさせていた。ただいた。

Q 産業廃棄物として処分するとなぜこれほどの費用がかかるのか。

A 処理や運搬に許可を取つた業者が行う必要があるため補償等、工期に影響はないのか。

A 今回の工期の変更はない。権利者にも一定の理解を得ている。

討論において、事業をスムーズに進めるため賛成との意見もありましたが、マニフェストや見積り等判断材料がないため、継続審査すべきとの意見がありました。

賛成多数で継続審査すべきと決まりました。

主な議案と 審議結果

〔市長提案〕

補正予算

▼平成23年度伊賀市一般会計補正予算(第2号)
他1議案
全員賛成で可決

条例改正

▼上野ふれあいプラザの設置及び管理に関する条例の一部改正
全員賛成で可決

契約

▼工事請負契約の変更
賛成多数で継続審査

人事案件

▼人権擁護委員候補者の推薦(委員の任期満了に伴う後任候補者の推薦 二井久也 氏)
全員賛成で同意

その他議案

▼市営土地改良事業の施行(予野西出地区の農地の集団化及び農道整備等の事業、花垣地区農業集落排水整備事業における汚水処理場敷地整形等の事業)
賛成多数で可決

〔議員提案〕

▼伊賀市議会会議規則の一部改正
(協議または調整を行うための場の別表を改正)
全員賛成で可決

意見書の提出

▼国民健康保険療養費国庫負担金の調整(減額)廃止を求める意見書
▼国民健康保険に対する国庫負担金引き上げを求める意見書
(2つの意見書は、国民健康保険制度における自治体負担の軽減を国に求めるもの)

全員賛成で可決

【提出先】衆参両院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

6月定例会賛否一覧

(賛否の分かれた議案について掲載)

○印は賛成、×印は反対、欠は欠席、退は退席

なお、安本美栄子議長は採決には入っていません。

議案名	議員名	議決結果	賛成	反対	生中 正嗣	稲森 稔尚	上田 宗久	近森 正利
市営土地改良事業の施行について		原案可決	26	1	○	○	×	○
工事請負契約の変更について		継続審査	22	5	○	○	×	○
「子ども・子育て新システム」に基づく保育制度改革に反対し、現行保育制度の拡充を求めることについて		不採択	12	15	○	○	×	×
現庁舎の一部を保存、跡地は観光拠点にし、新庁舎は他場所で建設することについて		採択	15	11(退席1)	×	○	×	○

7/5 議員全員協議会

庁舎建設事業予算の凍結解除について	凍結解除	18	7(欠席2)	○	×	○	×
-------------------	------	----	--------	---	---	---	---

市政を問う

一般質問

北出 忠良 議員

質問項目

- 生活・環境について
- 産業・振興について

問

「たいへんだあ〜」



平成23年5月1日に伊賀市西之澤の農業用井戸水に多量の油が混入していました。地域にとつて重大な問題と受け止め、その後の経過と対策について伺います。

答

引き続き調査を

油混入発生場所周辺を調査したところ、不法貯蔵された危険物は見当たりませんでした。その後、立ち入り調査を行った事業所は10事業所で、危険物許可施設は4事業所です。また少量危険物貯蔵取扱所は2事業所です。現在のところ、いずれの事業所においても、A重油や軽油等を貯蔵、取扱う危険物施設等から油漏れは認められておりません。

今後、原因究明のため県環境課及び市環境政策課と定期的に協議するとともに、情報等を共有し、継続して調査します。管内における災害防止のため、随時立ち入り検査、指導等を行い危険物事故防止に努めます。

一般質問

森永 勝一 議員

質問項目

- 原発依存のエネルギー政策から抜け出し、地震・災害に強いまちづくりを
- 伊賀市の図書館について
- 岩根川（七本木川）汚染その後は

問

原発災害による地域防災計画の見直しを



福島原発災害は深刻です。伊賀市の場合は福井県原発群（敦賀、大飯、美浜、高浜）が最も近く、アメリカの原子力規制委員会が食べ物を食べることと体内への被爆があるという80キロメートル内に伊賀市の榎山が入ります。原発事故を想定した地域防災計画が必要だと思いますが、いかがですか。

答

地域防災計画については早急に対応していきたい

東日本の災害を受け、県は四日市で毎日・定点で放射性物質の測定を行いHPで発表しています。それによると6月1日現在0.046シーベルトです。今後、関係機関と連携し、数値の収集もしながら対策をとっていききたいと思えます。また、地域防災計画については国や県も新たな見地から見直しをしてくるので早急に対応していきたいと思えます。

一般質問

西澤 民郎 議員

質問項目

- 伊賀市移送サービスの利用料金について
- 災害や火災に備える安全なまちづくりについて
- 未着手地域の農業集落排水事業の推進について
- 霊山林道の登記処理について
- 獣害対策について

問

移送サービスの利用料金が高くなって利用者が困っている



介助なしに移動することが困難で、公共交通機関等での移動が制約される市民に対して実施されている移送サービス事業の実施要綱が改正となり、医療機関より遠方の方々の利用料金が4月から高くなったので、多くの利用者が困っています。何らかの是正策を考えていただけますか。

答

できるだけ近くの医療機関に通院されるなど、ご理解を

改正前の利用料金は、他の福祉有償連送との料金バランスが取れない状況にあり福祉有償事業者の経営を圧迫する要因となっています。このままでは今後、利用者の移動手段の確保が懸念されることから、料金をタクシー料金の半額以内の設定に改正しました。利用者の皆さんには、できるだけ近くの医療機関への通院をお願いし、今後は皆さんと共に、柔軟に交通体系の方策を考え、安心して利用できる移動手段を構築していきます。

市政を問う

一般質問

中谷 一彦 議員

質問項目

- 東日本大震災が伊賀市に与える影響
- 災害時危機管理について
- 産業振興における次世代育成について

問 青山高原ウインドファームの決算内容を



福島での原発事故を受けて風力発電等に移行するにあたり、稼働労働に対しロスが多く、効率が悪いとの指摘もありますが、青山高原ウインドファームの決算内容を把握していますか。また、公表できる数字を示してください。

答 単一年度で利益を出しました

伊賀市は出資率9・1%、第10期平成21年度の青山高原ウインドファームの決算内容は流動資産4億5500万円、固定資産1億2900万円、資産合計2億8400万円、流動負債11億4100万円、固定負債10億8100万円、資本金4億4000万円、利益剰余金はマイナス5億7800万円となり、負債資本合計は20億8400万円、売上高3億5500万円、営業利益2200万円、単一年度で利益を出すことができました。

一般質問

田山 宏弥 議員

質問項目

- 伊賀市のまちづくりの方向について
- 伊賀市観光施策について
- 伊賀市交通安全計画について
- 市民スポーツフェスティバルについて

問 伊賀市のまちづくりの方向は



自立した魅力のある地域が求められるなか、これからのまちづくりをどのような理念のもとに進めていくのか、市長の考えるまちづくりの方向を聞かせてください。

答 市民のみなさんに理解いただくよう努めます

伊賀市のめざす方向として、自治基本条例を基本としたまちづくりを軸に、住みよさが実感できる魅力あるまちづくりを進めていきます。平成21年には、にぎわう伊賀市の未来と題したランドデザインを示しています。周辺が中心をさせざる、中心が周辺をさせざるというまちづくりを進めていくことが大事であるということ、市民のみなさんにご理解いただくよう努めます。

一般質問

坂井 悟 議員

質問項目

- 行財政改革について
- 伊賀市同和施策推進計画について
- 地域医療について

問 安定的な地域医療の運営とは



岡波総合病院の救急輪番制固定化の報道内容は、三者了解されていることですか。市民が安心安全な地域医療を受けられるよう、公が担うべきことは何ですか。

また、地域医療を安定的に運営するため、市民病院と民間病院の関係について伺います。

答 常勤医師を確保します

医師不足に変わりなく、行政として伊賀地域全体のことを考えています。輪番制は協議中でまだ確定した話ではありません。

夜間、休日、外来を回せるよう7月から応援の非常勤医師を確保していますが、あとのケアと入院に限界があります。何とか常勤医師を確保すべく努力しています。

市政を問う

一般質問

中本 徳子 議員

質問項目

- 各支所機構の充実について
- 防災について
- 鳥獣害対策について
- 観光振興について

問

防災対策は万全か



災害時、災害後の水供給システムの取り組みはされていますか。
また今後の取り組みと活用について伺います。

答

可動式浄水機を配備

伊賀市は可動式浄水機を4台保有し、管理は消防署でしています。災害時の水供給が停止した時に補うために備えています。ライプラインが整うまで身近にある水源（防火水槽・プールなど）を利用し、活性炭によりろ過処理を行う装置です。

災害対策としては、まだまだ不備です。東海、東南海地震に近い将来発生が予想されています。各地域単位にも配備が必要だと考えています。

また、防災訓練時にも展示し、地域の防災訓練にも使っていきたいと考えます。

一般質問

近森 正利 議員

質問項目

- 市民の安全・安心を守る災害に強いまちづくり

問

救急医療情報キットの活用を



阪神淡路大震災や新潟県中越地震による犠牲者の多くは、高齢者や災害弱者でした。今後同じことが繰り返されないために災害時要援護者避難支援プランが策定されました。

昨年6月議会で日常生活の中で、高齢者や一人暮らしの方が急病の場合の早急な情報取得に役立つ、救急医療情報キットの活用を提案しました。

このプランの中に、災害発生後の支援活動策として「救急医療情報キットの活用により、災害時要援護者が地域支援者以外の住民や救急隊員に救助された場合でも、必要な救助・避難支援情報が伝わるようにします。」と記載されていますが、今後どのように活用に向けて進められるか。

答

活用を検討します

今後の検討課題として進めていきます。

一般質問

前田 孝也 議員

質問項目

- 校区再編について
- 庁舎建設計画について

問

国道368号線成和中学校東面歩道橋の設置を



国道368号線の歩道橋の設置については、校区再編計画の安心安全な交通対策に関連し、どのような考え方をしていますか、市長、教育長の見解をご答弁ください。

答

安全な通学路の視点から

事業の進捗が遅れています。市の重要な路線として、伊賀建設事務所の方へ国道368号線整備計画、歩道橋の設置、安全対策に対し今後も強く働きかけていきたいと思っております。どの設置場所が適切か、どのような工法が可能なのか検討し、関係地区の皆さんと協議して現地立会いも終えています。

4車線を子ども達が横断するには無理があります。歩道橋は絶対必要であり、教育委員会としては、通学路の安全性から最重要課題と捉えて取り組んでいきたいと思っております。

市政を問う

一般質問

奥 邦雄 議員

質問項目

- 農業政策について
- 観光振興について
- 介護保険事業について

問
23年度伊賀市水田農業ビジョンの方針は

グローバル化が進むなか、伊賀の農産物、担い手対策はどう推進されますか。

また本年から始まるビジョンは行政・農業団体・生産者が三位一体で米の計画的生産を確実に推進し、消費者に安全・安心な農産物ニーズに応じた良食味を基本として、需要に対応した売れる米づくりに向けて産地形成を図らなければなりません。



また日本の農村集落の54%、東海地区の66%が担い手のいない集落になっています。この担い手の育成とビジョンの振興方針を尋ねます。

答
達成に向けて努力します

県・市・農協等で役割分担し、ビジョンの達成に向けて努力します。

米等の農産品のブランド化と戦略作物の6次産業化、担い手の育成推進に努めます。

一般質問

馬場 登代光 議員

質問項目

- 芭蕉翁記念館建設等について

問
赤い橋（旧白鳳橋）は架かりますか

芭蕉翁記念館は旧桃青中へ建設の答申がなされていますが、建設に向けてどんな取り組みをされていますか。

また私は旧上野市時代から上野公園と旧桃青中を結ぶ連絡橋（赤い橋）の建設を言い続けてきました。上野公園側は国の史跡ですから、現状変更許可を得なければ手をつけることができません。



記念館建設にはこの赤い橋が必要だと思いますが、どんな取り組みをされていますか。

答
文化庁の認可に向けて取り組みます

橋については、今後文化庁の認可に向けて取り組みます。

芭蕉翁記念館については、合併特例債を活用して建設したいと考えています。

一般質問

稲森 稔尚 議員

質問項目

- 予算編成・政策形成過程の透明化について
- 脱・原発について
- 保育士の採用及び臨時職員の待遇改善について
- 非常勤行政委員の月額報酬見直しについて

問
市役所等の電力契約の見直しで、大幅な経費削減は可能だ！

2000年の電力自由化以降、大手電力会社以外の新規事業者（PPS）から安価な電力契約が可能となりました。06年より三重県庁では伊賀庁舎も含め電力契約を競争入札に切り替え、大幅な経費削減をした事例もあります。市財政も厳しい中、漫然と随意契約を続けることは問題です。伊賀市でもぜひ電力契約の手法を見直し、競争入札の導入を実現してください。



答
本庁舎だけで最大230万円の経費削減が見込まれます

新規事業者との電力契約を行った場合、年間2300万円の電気料金がかかる本庁舎だけで、最大10%、230万円の経費削減が見込まれます。また、市内で契約可能な公共施設（50キロワット以上）は108施設にのぼります。経費削減効果も大きいことから、さまざまな課題も十分検証した上で、見直しに向けた検討を行います。

市政を問う

一般質問

生中 正嗣 議員

質問項目

- 伊賀市の防災対策について

問

「伊賀市地域防災計画」の見直し
の考えは



市長が東日本大震災の現地を視察されての新聞報道で、伊賀市においては「土石流対策が急務」とコメントされた真意を尋ねます。

答

土石流対策を含め
見直しが必要

想定外の地震による大津波によって大災害となりましたが、泥まみれの家屋や田畑の想像を絶する光景を目の当たりにした時、水と土砂の恐ろしさを感じました。

当市においては、過去の人命に関わる災害として、洪水や土石流による被害が多く、また恐れのある地域も多数存在することから、土石流対策が急務であり、「地域防災計画」の見直しが必要であると感じた次第です。

一般質問

松村 頼清 議員

質問項目

- 獣被害対策事業
- 自治のしくみ

問

シカ、イノシシの食肉処理
加工施設を



全国的に獣被害が叫ばれている中で、今の対策は、電気柵や進入防止柵が中心となっています。これからは、個体数そのものを適正規模まで減らしていく施策をしなければなりません。

そこで、伊賀市の産学官の連携の中でペットフードとしてシカ肉ジャーキーを製造販売もされています。施策として伊賀市の中でシカ、イノシシの食肉処理施設を造る支援はできないでしょうか。

答

流通が成り立つのであれば

市としては、まず困い込みの施策を行っています。事業に対しても、国の補助あるいは受益者負担以外に市から多くの金額を出させていただいています。ドックフード化など意欲的に提案され、食肉加工施設についても、販売や流通が成り立つのであれば、市としても積極的な応援をさせていただくことも必要かと考えます。

一般質問

中井 洸一 議員

質問項目

- 環境・エネルギー政策について
- 消防の広域化について

問

名張市との消防広域化は
時間をかけて慎重に



消防の広域化については、県下他市町においてほとんど進んでいない状況で、これにはさまざまな問題、課題が多いと聞いています。現在名張市との間で進められている消防広域化は、財政面あるいは市民サービスの点からも、より時間をかけて慎重に議論すべきで、平成24年度中にこたわる必要はないと考えるがいかがですか。

答

議会の意見をしっかりと聞いた上で
対応していきます

両市の間で設置された伊賀ブロック広域消防運営計画策定委員会において広域化の協議がされています。

当初強い主導で働きかけを行ってきた県は腰折れ状態であり、広域化における両市の課題や問題点も多くあります。今後、議員全員懇談会等で議会に説明させていただき、議員皆様の意見を十分に考慮した上で伊賀市としての考え方も整理していく必要があると考えています。

市政を問う

一般質問

森岡 昭一 議員

質問項目

- 行財政改革について
- 防災対策について
- 福祉計画について
- 地域医療の整備について
- 企業誘致について
- 指定管理者制度について

問

合併10年後の財政は大丈夫か



合併して10年目を迎えるのは、地方交付税が5年間で段階的に削減され、現予算よりも税収見込みも含め50〜60億円減少すると思いますが、当局の見通しを伺います。

答

しっかりとしたまちづくりの計画を進める

地方交付税の見通しとしては、平成26年度106億円が平成31年度では73億7000万円、32億円くらいまで落ちると予測をしています。

その上で平成27年度予算は370億円くらいの予算規模になり、平成31年度以降はさらに縮小していく予算になっていくことになり、27年度以降の施策、まちづくりの計画をしっかりと立てていかなければならないと考えています。

一般質問

桃井 隆子 議員

質問項目

- 地域医療について
- 定員適正化計画について
- 駅前再開発の廃棄物等について

問

上野市駅前再開発ビル建設地の掘削土を産業廃棄物として処理した根拠は



開発ビルは埋蔵文化財包蔵地に含まれ、地下から出土した伊万里焼のおもちゃ・ガラス瓶・酒とつくり等は市役所の2階に展示されています。往年、栄えた上野の立派な文化財と考えられています。それを適正に調査もしないで産業廃棄物として1億1千万円弱の公金を追加して処分した根拠はなんですか。

答

産業廃棄物であり文化財ではありません

産業廃棄物であり、文化財ではありません。汚泥は産業廃棄物です。また文化財とは著名人が作った芸術的だったりするものを指しますが、今回はそれに類しないと判断しました。

一般質問

百上 真奈 議員

質問項目

- 市民が願う上野総合市民病院に
- ゆたかな学校給食を子どもたちに
- 子どもの貧困解決にむけて就学援助の拡充を

問

市民が願う市民病院へ看護師不足の解消を



上野総合市民病院の看護師不足が深刻です。11時間を越える深夜勤務、夜勤回数が見直し、院内保育所に24時間保育や学童保育の導入など働き続けられる労働環境を作ることが大切です。

看護師のやる気を高め資質向上を図るため、プラス査定のみ的人事評価で勤務手当を支給したり、就職奨励金制度など看護師確保に成功している取り組みに学ぶべきです。

また、4月からできた経営企画室は兼任でなく専任職員を置くべきです。

答

看護師の確保と離職防止に全力

看護師は最高時より40人少ない状況です。処遇面も含めて魅力ある病院経営が大切です。看護師のニーズを把握し、提案内容も含めて保育所の充実など看護師確保と離職防止に努めてまいります。

経営企画室のあり方については、成果を検証しつつ考えます。

議員全員協議会

庁舎予算の凍結解除

- 市民への説明が不十分
- 予算は請願に添って執行すべき
- 直ちに建設は必要ない
- 他の場所との比較検討が必要

反対

討論

- 市は説明責任を十分果たした
- 合併特例債の適用を受けるため一刻も早く解除すべき
- 採択した請願に添って移転新築を前提に賛成

賛成

伊賀市庁舎の建て替え問題で、7月5日議員全員協議会を開き、庁舎建設事業費予算（4億3845万円）の凍結について、出席の全議員が意見を述べた後、議員間討論をし、採決の結果、**賛成多数**で凍結解除を決めました。

平成 23 年 9 月 定例会 日程(予定)

9月 5日(月)	本会議	(開 会)
9日(金)	本会議	(一般質問)
12日(月)	本会議	(一般質問)
13日(火)	本会議	(一般質問)
14日(水)	本会議	(一般質問)
15日(木)	決算常任委員会	
16日(金)	決算常任委員会	
20日(火)	予算常任委員会	
21日(水)	予算・決算を除く各常任委員会	
22日(木)	予算・決算を除く各常任委員会	
28日(水)	本会議	(閉 会)

※上記日程は、変更になる場合もあります。

議員永年勤続表彰と感謝状授与
平成23年6月15日に開催された第87回全国市議会議長会定期総会において、次の議員が表彰されました。

議員永年勤続表彰

【議員在職15年以上】

馬場 登代光

中岡 久徳

安本 美栄子

【議員在職10年以上】

桃井 隆子

感謝状

【産業経済委員会委員】

今井 由輝

10月の議会報告会へお越しください

議会基本条例により、市民の皆さんと議員が自由に情報や意見を交換する議会報告会を実施しています。皆さんのご参加をお待ちしています。

(7月20日現在)

議員名(◎班長)	地区名	開催日	時間	場所
◎奥、生中、中盛、北出、中岡	府中	10月14日(金)	18:00	府中地区市民センター
◎空森、稻森、西澤、中本、馬場	中瀬	10月14日(金)	19:00	中瀬地区市民センター
	きじが台	10月16日(日)	10:00	きじが台地区市民センター
◎上田、百上、渡久山、岩田、森岡	矢持	10月17日(月)	19:00	矢持地区市民センター
	友生	10月18日(火)	18:30	友生地区市民センター
◎森永、近森、田山、前田、坂井	阿波	10月15日(土)	19:30	阿波地区市民センター
◎森、中谷、今井、安本	上津	10月14日(金)	19:00	上津地区市民センター

議会の傍聴してみませんか!!

議会の会議は、どなたでも傍聴することができます。

市民の皆さんが選んだ議員の活動や市政の動きを知るためにも、ぜひ、傍聴にお越しください。

本会議等の模様は、午前10時からケーブルテレビでも生中継しています。(再放送は午後7時から)

●聴覚に障がいのある方で、手話通訳による傍聴を希望される方は、一般質問初日の3日前までに市議会事務局に申し出てください。(対象となる会議……一般質問)

●議場傍聴席に「磁気誘導ループ」装置も設置しております。

議会だよりに関するご意見をお寄せください。

発行：伊賀市議会

編集：伊賀市議会広報委員会

TEL 0595-22-9687

FAX 0595-24-7901

E-mail gikai@city.iga.lg.jp

ホームページ http://www.city.iga.lg.jp